

<自主的努力項目記入書式>

提携先	農事組合法人 会田共同養鶏組合	記入日	2009/11/4
登録消費材名	鶏卵		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

ゆうきのふる里作りを目指し、地域社会全体の中で果たす役割を確認しながら循環型社会形成に努力した。

①共同利用施設有機センターを書くに有機農産物の生産グループを育成し、JAS認証農家も増加している。

②食料自給率向上と食の安全を推進するため松本市四賀地域飼料米連絡協議会を組織し耕畜連繫の中で飼料米の増産を図る。政策要求として飼料米の恒久対策を要求するとともに生産された飼料米によるたまごの消費意義を消費者団体と協議推進してきた永続的なものにするため財政支援が不可欠。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

①地球環境保全を目指し推進してきた有機農業はJAS認証を受け7年目を達成し消費者の評価を受けている。

②NON-GMO飼料による鶏卵生産と休耕田活用の飼料米生産は序についたものの拡張が遅れている。

③鳥インフルエンザ防止は至上命題でありマニュアルに基づく予防措置が達成できた。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

①耕畜連繫をより一層強め飼料米の増産を目指す

②飼料米による鶏卵について消費者の理解・活用について協議会を持ち実施にうつしたい

③循環型社会形成をいっそう確かな物とするため行政と連携を推進していく